



奈良県感染症情報

平成31年 第2週(1月7日～1月13日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザ警報発令です!

今週の概要

- 小児科外来情報
- 12月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	31.45	(7.38)	↑↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	8.41	(1.62)	↑	↑	→	↑↑
3	A群溶連菌咽頭炎	2.00	(0.18)	→	→	→	↓
4	突発性発しん	0.53	(0.12)	↑	↑	↗	→
5	水痘	0.35	(0.21)	→	↓	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの定点当たり報告数が警報基準値「30」を越え、警報発令となりました。県内全域で報告数が急増しており、特に中和保健所管内西部地域、吉野保健所管内からの報告数が多くなっています。インフルエンザにかからないために①外出後の流水・石けんによる手洗い②適度な湿度(50～60%)の保持③体の抵抗力を高めるため、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取④人混みや繁華街への外出を控えることを心がけましょう。インフルエンザウイルスにはアルコールによる消毒も有効です。また、咳やくしゃみ等の症状のある時はマスクを着用し、体調不良を感じたときは早めに医療機関を受診するよう心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

正月明けの診療からインフルエンザが急増しております。迅速検査では全てA型です。熱発初期には、咳の症状がほとんど無く、嘔気や嘔吐を伴うこともあり、今シーズン非常に少なかった感染性胃腸炎が最近増加していますので特に念頭においての診断が必要です。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが増加。学童から中・高学年を中心、すべてA型。
 消化器症状を伴う例は少ない印象。感染性腸炎が流行、軽度の嘔吐・軟便程度の軽症例が多い。
 ノロ・ロタ陽性例はない。その他の登録疾患は少ない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A型インフルエンザの流行が続いている。
 熱性けいれん、気管支炎、異常行動を伴う症例もある。また抗インフルエンザ薬未使用例で、熱が8日間遷延した1歳児もいた。家族内感染も多く、強い感染力がうかがえる。
 嘔吐、発熱で発症、水様下痢の遷延する胃腸炎も多くなった。各種便迅速検査では反応しなかった。
 また手足口病様の発疹症で、回復期に手足の皮膚剥離のみられた学童が複数名いた。ウイルスの同定はできていない。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 第 2 週 1 月 7 日 ~ 13 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	1730 (31.45)	347 (24.79)	361 (25.79)	351 (31.91)	437 (43.70)	66 (33.00)	168 (42.00)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	6 (0.18)	3 (0.33)		1 (0.14)	2 (0.33)			
咽頭結膜熱	11 (0.32)	2 (0.22)	6 (0.67)		3 (0.50)			
A群溶連菌咽頭炎	68 (2.00)	12 (1.33)	6 (0.67)	2 (0.29)	47 (7.83)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	286 (8.41)	60 (6.67)	98 (10.89)	51 (7.29)	56 (9.33)	8 (8.00)	13 (6.50)	
水痘	12 (0.35)		2 (0.22)	8 (1.14)	2 (0.33)			
手足口病	4 (0.12)		2 (0.22)	1 (0.14)			1 (0.50)	
伝染性紅斑	7 (0.21)	5 (0.56)	1 (0.11)		1 (0.17)			
突発性発しん	18 (0.53)	4 (0.44)	4 (0.44)	4 (0.57)	6 (1.00)			
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.11)					
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	13 (1.30)	1 (0.33)	6 (2.00)	5 (2.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(奈良市1、郡山4、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(奈良市1) 急性脳炎1件(中和1)、水痘(入院例)1件(中和1) 百日咳1件(奈良市1、1歳) 風しん1件(中和1)、麻疹1件(中和1)

❖ 第2週のトピックス ❖

◆日本の輸入感染症例の動向について(2019年1月16日)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/1709-source/transport/idsc/8045-imported-cases.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

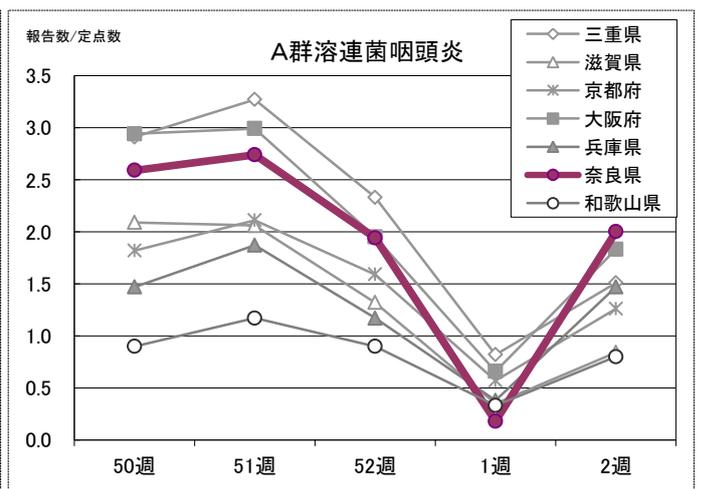
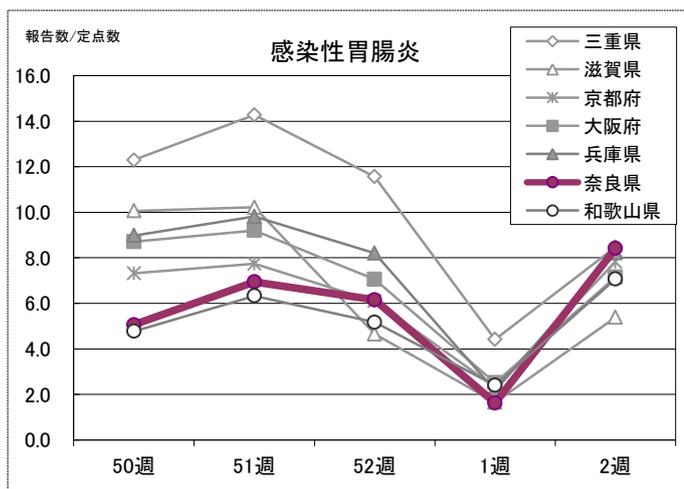
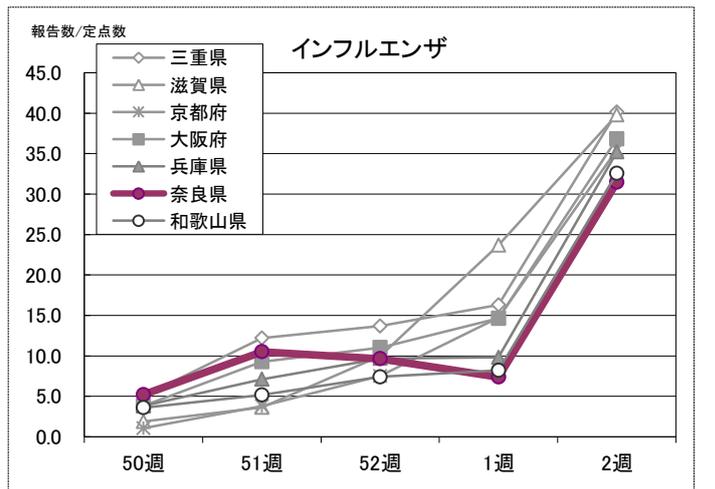
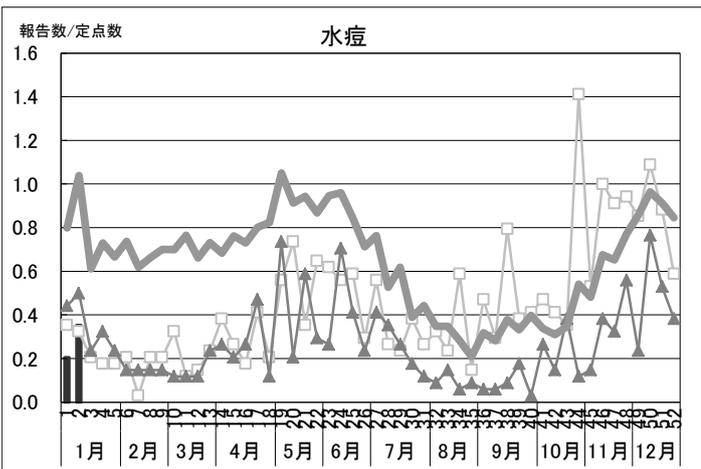
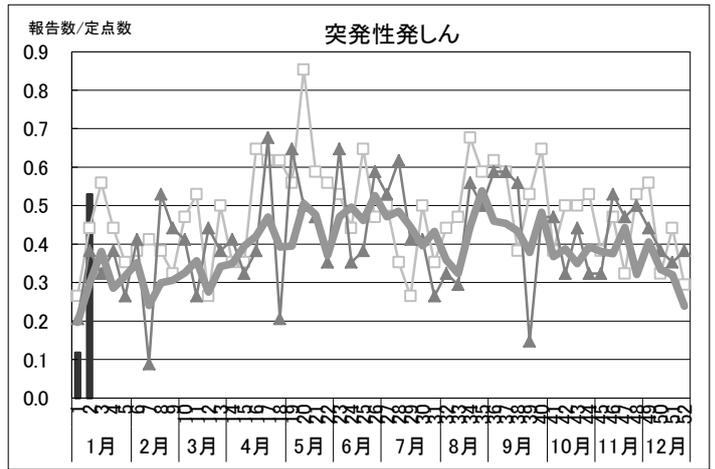
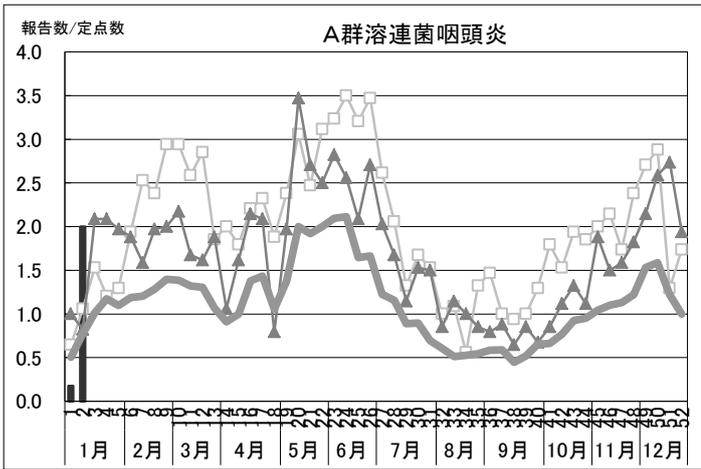
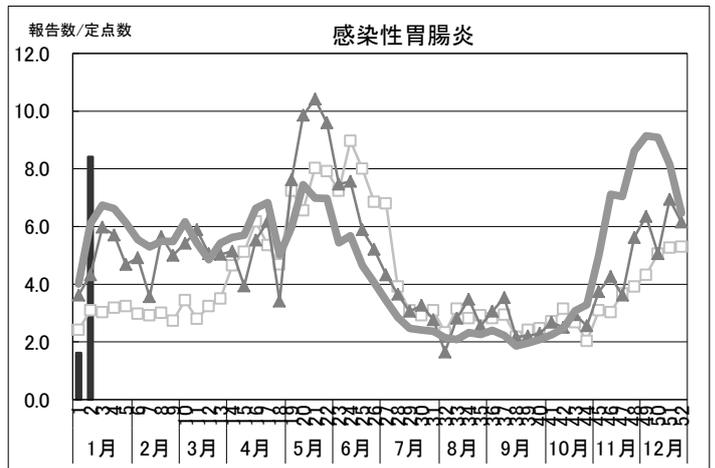
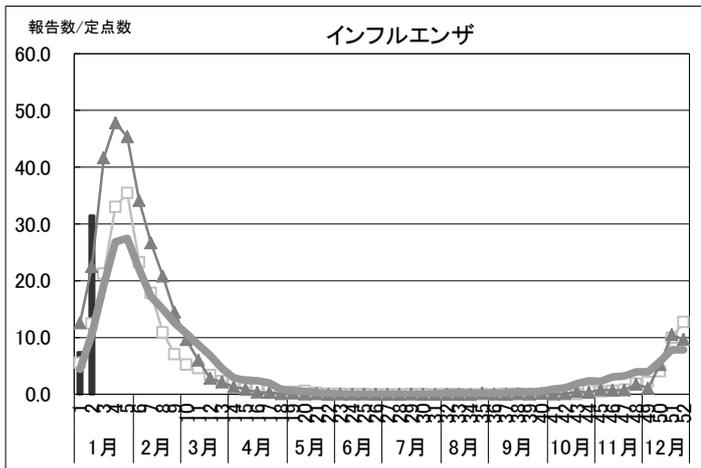
上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	3	16	34	38	35	59	44	41	54	33	26	113	59	54	50	68	52	45	25	9	858	1060
	女	4	10	26	30	38	48	28	29	48	28	26	111	61	63	74	90	59	50	34	15	872	1076
RSウイルス感染症	男		2	1																		4	6
	女		1	1																		2	4
咽頭結膜熱	男		3	1	1		1															6	11
	女			3		1				1												5	6
A群溶連菌咽頭炎	男			3	1	3	5	8	4	2	2	2	4									34	35
	女		1	2	3	4	5	5	2	2	2	2	5		1							34	39
感染性胃腸炎	男	1	11	27	22	16	14	7	10	5	7	2	17	3	22							164	195
	女		4	27	19	4	5	11	9	2	1	5	8	4	23							122	146
水痘	男			1	1		1		2	1		1	1									8	14
	女			1		1					1		1									4	5
手足口病	男			1				1														2	5
	女				2																	2	3
伝染性紅斑	男					2				2												4	5
	女				1		1							1								3	5
突発性発しん	男	1	3	3	2																	9	11
	女		4	5																		9	11
ヘルパンギーナ	男																					1	1
	女													1								1	2
流行性耳下腺炎	男									1												1	2
	女																						
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男		1	1	1								1			1	1	1		1		8	10
	女															3		1				5	7
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						
無菌性髄膜炎	男																					1	1
	女																					1	2
マイコプラズマ肺炎	男			1																		1	2
	女																						
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						
	女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H31 ▲ H30 □ H29 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 30 年 12 月

	奈良県						上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数														累計は、2018年1月からの累計								
	奈良県	北部		中部		南部		年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計			
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0	年齢																					
性器クラミジア感染症	19 (1.73)	3 (1.00)	10 (3.33)		6 (2.00)	男					1	3		2	1			1							8	84	
						女					1	5	1	3	1										11	92	
性器ヘルペス	4 (0.36)		2 (0.67)		2 (0.67)	男											3									4	9
						女																				4	50
尖圭コンジローマ	3 (0.27)		3 (1.00)			男							1	1	1	1									3	34	
						女																			3	15	
淋菌感染症	5 (0.45)		5 (1.67)			男					1			2		1									4	42	
						女					1														1	5	
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢																					
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	37 (6.17)	13 (13.00)	11 (5.50)	7 (7.00)	6 (6.00)	男				1	1									1	1	2	23	29	358		
						女	1															1	5	8	221		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5 (0.83)		5 (2.50)			男																		2	35		
						女																		2	3	17	
薬剤耐性緑膿菌感染症						男																				7	
						女																					

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ H30 ▲ H29 □ H28

